



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月10日

上場会社名 ヤマエグループホールディングス株式会社
コード番号 7130 URL <https://www.yamaegroup-hd.co.jp/>

上場取引所 東 福

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 網田 日出人

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 長野 正毅

TEL 092-412-0711

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	443,376	16.2	8,563	56.7	8,880	44.2	5,764	63.8
2022年3月期第3四半期	381,625	2.7	5,463	528.9	6,159	327.4	3,518	141.9

(注)包括利益 2023年3月期第3四半期 6,163百万円 (83.1%) 2022年3月期第3四半期 3,367百万円 (116.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	243.72	—
2022年3月期第3四半期	148.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	252,195	64,735	24.7
2022年3月期	180,890	60,535	32.1

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 62,307百万円 2022年3月期 58,024百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	580,000	15.2	10,500	52.7	11,000	39.3	6,900	2.6	291.30

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	23,686,752 株	2022年3月期	23,686,752 株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	33,504 株	2022年3月期	68 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	23,653,253 株	2022年3月期3Q	23,686,752 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の期間の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信[添付資料]P.2[1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明]をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において、当企業グループ(当社及び当社の関係会社)が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限の解除や政府の観光支援策の効果などもあり、経済活動は正常化に向けた動きが進んでおります。一方、地政学的リスクをはじめ原材料・原油価格の高騰や急激な円安進行による物価上昇の影響で消費者の節約志向が高まるなど、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

このような環境の下、当企業グループは、「流通のトータルサポーター」として、グループ一丸となってサプライチェーン全体の発展に寄与していくと同時に、川上から川下までありとあらゆる場面においてビジネスをプロデュースする企業集団として、総合力を活かした営業体制の構築に努めてまいりました。また、新型コロナウイルス感染症の影響下においても、お取引先様と従業員の健康と安全確保に最大限配慮しながら、商品・サービスの安定供給を維持・継続して社会的使命を果たすとともに、永続的な成長を可能とする事業基盤の強化に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、4,433億76百万円(前年同四半期比16.2%増)となり、617億50百万円の増収となりました。

利益面におきましては、グループ全体で業務の見直しや効率化に取り組むことで経営基盤の強化を図り、経常利益は88億80百万円(前年同四半期比44.2%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、57億64百万円(前年同四半期比63.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ713億5百万円増加し、2,521億95百万円となりました。主な要因は、「現金及び預金」の増加額113億10百万円、「受取手形、売掛金及び契約資産」の増加額244億14百万円、「商品及び製品」の増加額53億3百万円、「仕掛販売用不動産」の増加額26億53百万円、「原材料及び貯蔵品」の増加額7億59百万円、「建物及び構築物(純額)」の増加額41億88百万円、「土地」の増加額23億88百万円及び「のれん」の増加額71億11百万円によるものです。

負債におきましては前連結会計年度末に比べ671億5百万円増加し、1,874億60百万円となりました。主な要因は、「支払手形及び買掛金」の増加額347億61百万円、「短期借入金」の増加額123億62百万円及び「長期借入金」の増加額137億9百万円によるものです。

また、純資産におきましては前連結会計年度末に比べ41億99百万円増加し、647億35百万円となりました。主な要因は、「利益剰余金」の増加額48億17百万円及び「資本剰余金」の減少額6億52百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2022年5月11日に公表いたしました連結業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「2023年3月期通期連結業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,722	27,032
受取手形、売掛金及び契約資産	54,764	79,179
電子記録債権	1,869	2,449
商品及び製品	9,719	15,022
仕掛品	515	861
未成工事支出金	63	98
原材料及び貯蔵品	2,247	3,007
販売用不動産	-	492
仕掛販売用不動産	-	2,653
その他	8,563	11,717
貸倒引当金	△634	△1,202
流動資産合計	92,831	141,312
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,091	19,279
土地	27,331	29,720
その他（純額）	11,678	17,704
有形固定資産合計	54,101	66,704
無形固定資産		
ソフトウェア	493	1,027
のれん	14,700	21,812
その他	265	329
無形固定資産合計	15,459	23,168
投資その他の資産		
投資有価証券	10,508	11,091
退職給付に係る資産	786	794
その他	7,320	9,687
貸倒引当金	△118	△563
投資その他の資産合計	18,497	21,009
固定資産合計	88,058	110,883
資産合計	180,890	252,195

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	61,073	95,834
電子記録債務	7,674	7,947
短期借入金	2,210	14,572
1年内償還予定の社債	20	48
1年内返済予定の長期借入金	6,186	7,221
未払法人税等	3,450	1,986
契約負債	250	297
賞与引当金	1,654	1,116
ポイント引当金	-	57
完成工事補償引当金	3	5
その他	14,756	19,847
流動負債合計	97,279	148,933
固定負債		
社債	40	66
長期借入金	10,658	24,368
役員退職慰労引当金	686	713
退職給付に係る負債	603	989
資産除去債務	609	826
その他	10,476	11,563
固定負債合計	23,074	38,526
負債合計	120,354	187,460
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,974	2,974
資本剰余金	1,185	532
利益剰余金	50,235	55,052
自己株式	△0	△34
株主資本合計	54,395	58,525
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,595	3,816
為替換算調整勘定	△37	△96
退職給付に係る調整累計額	70	62
その他の包括利益累計額合計	3,628	3,782
非支配株主持分	2,511	2,427
純資産合計	60,535	64,735
負債純資産合計	180,890	252,195

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	381,625	443,376
売上原価	343,914	393,692
売上総利益	37,711	49,684
販売費及び一般管理費	32,248	41,121
営業利益	5,463	8,563
営業外収益		
受取利息及び配当金	132	166
仕入割引	60	68
持分法による投資利益	52	-
助成金収入	362	142
その他	364	445
営業外収益合計	973	824
営業外費用		
支払利息	128	156
持分法による投資損失	-	31
貸倒引当金繰入額	34	224
その他	114	94
営業外費用合計	277	506
経常利益	6,159	8,880
特別利益		
固定資産売却益	15	1,085
負ののれん発生益	123	-
投資有価証券売却益	-	18
補助金収入	-	236
保険解約返戻金	-	24
段階取得に係る差益	-	56
事業譲渡益	135	-
特別利益合計	274	1,421
特別損失		
固定資産除売却損	85	23
減損損失	48	26
投資有価証券評価損	10	-
投資有価証券売却損	-	0
特別損失合計	144	49
税金等調整前四半期純利益	6,288	10,251
法人税、住民税及び事業税	2,533	4,020
法人税等調整額	52	218
法人税等合計	2,586	4,238
四半期純利益	3,702	6,013
非支配株主に帰属する四半期純利益	183	248
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,518	5,764

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	3,702	6,013
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△321	218
為替換算調整勘定	-	△59
退職給付に係る調整額	△1	△7
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	△0
その他の包括利益合計	△334	150
四半期包括利益	3,367	6,163
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,173	5,917
非支配株主に係る四半期包括利益	193	245

(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年8月1日付で、連結子会社であるデリカSFホールディングス株式会社の株式を追加取得いたしました。また、2022年11月1日付で、連結子会社である株式会社春日やの株式を追加取得いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が652百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が532百万円となっております。

(会計方針の変更等)

時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。